

滋賀県伊香郡西浅井町塩津浜方言の助数詞

井上 博文

I. はじめに

- (1) 調査対象地；西浅井町塩津浜は琵琶湖の北端に位置する。賤ガ岳を背にし、沖合に竹生島を浮べる奥琵琶湖の湖畔の、世帯数131戸、人口556人の農業と漁業の集落である。いわゆる湖北域である。
- (2) 調査年月日；平成8(1996)年9月3日 午後1時30分～3時15分。
- (3) 教示者；石田ヤエ 大正14年12月生(71歳) 農業 外住歴なし。
- (4) 調査者・調査場所；井上博文 ・ 農作業中の畑の畦。
- (5) 調査方法；調査票に基づいた質問調査。
- (6) 表記方法；通常は数えないと教示のあったものは()で括った。当該事象のアクセントは高低2段階表記とし、教示者の説明の文アクセントは上昇(´)と下降(˘)で示した。また、文中・文末に於ける特徴的な上昇調を「´」で表す。

II. 調査結果

A 天地

- 1 星 ヒ下^ツ、ラ下^ツ、ミツ、ヨツ、イツ、ムツ、チツ、ヤツ、ココノツ、下
- 2 波 シ下^ウネ、フ下^ウネ、ミウネ、トウネ
- 3 つらら イッボン、三ホ^ン、サンボン ジュッボン
○ワシラ´ガ ´チッ´サイジブンワ ´タイ´ガイ ´ホ´ダレトカ ´イーマ´シタ。
わたしが小さい時は大嵐(つらら)をホレとか言いました。
- 4 雪だるま (1) イッコ、(ニコ、サンコ、ジュッコ) (2) ヒ下^ツ、(フ下^ツ、ミツ、下) 普通は雪だるまを数えることはない。○ドー´シテ ユキ´ダルマ´ナンテ イク´ツ´モ シ´マセ´ンサカ´イ ´ネ。どうして、雪だるまなんかはいくつもしませんからね。
- 5 小石 (1) ヒ下^ツ、フ下^ツ、ミツ、下 (2) イッコ、ニコ、サンコー、ジュッコ
- 6 集落 ヒ下^アザ、フ下^アザ、サンアザ、ジューアザ
○コ´コノ ´ニシアザ´イノ ´コ´ノ ´シ´オツワ ´ネ。´キュー´ ヨッテマス´ニャ。´キューアザ ´ヨッ´テ。この西浅井の塩津はね、九(字が)集まっていますよ、九字集まって。

B 動植物

- 1 牛 イット、三ト サント、ジュット
- 2 犬 3 熊 4 ねずみ 8 おたまじゃくし 9 とかげ 10 蟬 11 蠅 12 蚤
イッピキ、三ヒキ、サンビキ、ジュッピキ
- 5 兎 6 鶏 イチワ、イッチワ、三ワ、サンワ、ジュッパ
- 7 蛇 イッピキ、三ヒキ、(サンビキ、ジュッピキ) ○´ア´ンナ カゾエタコタ´オ´エンサカイ。カゾエマセ´ン´サ´カイ ´ネ。あんな、数えたことはありませんから。数えませんがね。
- 13 烏賊・蛸 イッパイ、ニハイ、サンバイ、ジュッバイ
- 14 木 16 竹 18 花(切り花) 19 花(そのもの) イッボン、三ホン、サンボン、

ジュッポン

- 15 木の葉 20 花びら (各々) イチマイ、ニマイ、サンマイ、ジューマイ
17 植木 (鉢植え) ヒ下八手、フタ八手、サンバチ、ジュッバチ

C 人

- 1 人 ヒ下リ、フタリ、サンニン、ヨニン・ヨッたり、ジューニン
2 腕 3 足 5 指 6 毛髪 7 歯 イッポン、ニホン、サンボン、ジュッポン
4 歩幅 (1) イッポ、ニホ、サンボ、ジュッポ (2) ヒ下アシ、フタアシ、ミアシ
下アシ (1) が普通。
8 しわ ヒ下シワ、フタシワ、(ミシワ、下シワ) ○ソーデモ 'カ'ソエタ コト
'オ'エンケ'ン'ド。タ'ブン 'ホー'ヤ 'オモイマ'ス'ー。そうだけど数えたことありませんけれど、
たぶんそうだと思います。○シワ 'ヨー'ケ ヨッ'タ 'ナ。懺くさんよったね。
9 ほくろ ヒ下-ツ、フタ-ツ、ミツツ、下-

D 農業

- 1 田 2 畑 ヒ下セ、フタセ、サンモ、ヨセ、ゴセ、10畝はイッタン。
今はアールである。
○ヒ'ト'セガ 'ト'ー ヨッテ イッタンデ'ス'サ'カイ。一畝が十集まって一反ですから。
3 畝 ヒ下ウネ、フタウネ、ミウネ、下ウネ
4 堆肥の山 堆肥を作らない ○ホンナ 'ウ'チラ 'タ'イヒテ'ー アノ シマセ'ン
シ 'ワカリマセ'ンケド'ー。そんな私らは堆肥は、あのしませんから、わかりませんけど。
5 堆肥を籠で担いだときの肥 イッカ、ニカ、サンガ、ジュッカ
6 堆肥をそりに載せた肥 そりを使わない。一輪車の場合は、イチダイ、ニダイ、
サンダイ、ジューダイ。○ムカシワ 'イ'ノテ。イマワ 'イ'チリンシャニ
'ノ'セテ。昔は担いで、今は一輪車に載せて。
7 天秤棒で担いだ2桶の肥 イッカ その分量をイッカブンと言う。
8 7の桶の各々 分からない。一個はハンガ。○フタ'ツ アッ'テ 'イッ'カデスサ'
ケ。二つあって一かですから。
9 天秤棒 イッポン、ニホン、サンボン、ジュッポン
10 肥樽 ヒ下-ツ、フタ-ツ、(ミツツ、下-)
11 田おこしをしたひとかたまりの土 ヒ下カブ、フタカブ、ミカブ、下カブ
12 代掻の回数 イッカイ、ニカイ、サンガイ、ジュッカイ
13 苗代の区画 ヒ下ウネ、フタウネ、ミウネ、下ウネ
14 種籾 ヒ下ツカミ、フタツカミ、ミツカミ、下ツカミ
○ホ'ナ 'ジカ'ニ 'マイタノ'ワ 'ネ。'オボエマセン'ケド'ー。イマ 'ネー。
'ハコ'ニ 'ネ。キ'カ'イデ シャ'ーット 'マイ'テ。そんなじかに蒔いたのはね、知りませんけど。
今はね、箱にね、機械でしゃーと蒔いて(いる)。
15 野菜の種 (1) ヒ下ツカミ、(フタツカミ、ミツカミ、下ツカミ)
○ヒ'トツカミ 'モッ'テ バッ'バット。アタシラ'ワ テ'ノナカニ イ'レト'
イテ 'ボ'ロボロ'ボ'ロボロ 'マキマスノ'ヤケ'ド。一掴み持ってばっばと、私らは手の中に(種を)

入れておいてぼろぼろぼろ曇りますけど。

(2) ヒトツブ、フタツブ

16 稲の苗箱 (機械植えの場合) ヒ下ハコ、フタハコ、ミハコ、ジュッパコ

17 手植えの時の苗束 イチワ、ニワ、サンバ、シワ、ジュッパ

18 苗の一握り ヒトツワミ、フタツワミ、ミツワミ、トツワミ

19 苗の植え筋 イチレツ、ニレツ、サンレツ、ジューレツ

20 稲束 イチワ、ニワ 一束はヨカブ (四株) かイツカブ (五株)。

○イマワ キカ'イ'デ 'ガー'ッテ 'ミ'ナ'ー カッ'テ イ'カ'ハリマスサカイ
'ネ。今は機械でがーっとみんな、刈って行きますから。

22 稲架の支柱 (ハサ) ヒ下マ、フタマ、ミマ、下マ

23 稲架の横木 イッボン、ニホン、サンボン、ジュッボン

24 稲むら ヒトツボネ、フタツボネ、ミツボネ、トツボネ 今は作らない。

○コー 'オーキ'ナ 'ネ。ムカシワ ツ'ボネ'オ 'ネ'。'ツ'マハリマ'シタン'
ヤケ'ド。'ワラ'オ カッ'タアト ツ'クッ'タノオ 'ネ。ズー'ト 'ツ'ンデ
イキマス'ンヤ。こう大きな、昔はつばねをね、積みましたけど、葉を刈った後つくだのね、ずっと積んでいくのです。

25 鳥追いの目玉 ヒ下ツ、フタツ、ミツツ、下

26 かかし (カガシ) ヒ下ツ、(フタツ、ミツツ、下) ○ソソナ 'ヨ'ーケワ
'シマセン'ガ。ヒ'ト'ツグライド'ツ'シャロー。そんなたくさんはしませんでしよう、つくらいでしよう。

27 稲の株 ヒ下カブ、フタカブ、ミカブ、下カブ

28 米俵 イッピョー、ニヒョー、サンピョー、ジュッピョー ○ムカシワ 'ホ'レ
'ヨン'トーデ イッ'ピョー'デシ'タンヤ 'ワ。昔は、田、四斗で一俵でしたんですよ。

29 30kg米袋 ヒ下フクロ、フタフクロ、ミフクロ、下フクロ

○イマワ 'ア'ノー 'フ'クロニ 'ハンダワラ'ガ 'ネ。ニト'ー'カ'ヒ'ト'フ
クロ'ド'スサカイ。今は、あの、袋に半袋ね、二斗が一袋ですから。

30 耕運機 38 リヤカー (リヤカ) 40 一輪車 イチダイ、三ダイ、サンダイ、
ジューダイ

31 鍬 (1) イッチョー、ニチョー、サンチョー、ジュッチョー (2) イッボン、
ニホン、サンボン、ジュッボンとも。

32 鋤 使ったことがない。

33 スコップ 34 移植ごて (シヤベル) イッボン、ニホン、サンボン、ジュッボン

35 鎌 イッチョー、ニチョー、サンチョー、ジュッチョー

36 草刈り用の籠に入れた草 ヒ下カゴ、フタカゴ、ミカゴ、下カゴ

37 槌 (ツチアコ) 39 笠 ヒ下ツ、フタツ、ミツツ、下

41 蓑 42 合羽 43 むしろ イチマイ、ニマイ、サンマイ、ジューマイ

44 梯子 イッチョ (一)、ニチョー、(サンチョー、ジュッチョー)

45 田植え機の植え筋 イチジョー、ニジョー、サンジョー、(ジュージョー)

○サ'イ'ショワ 'ネ'。ニ'ジョー'ウエガ 'ネ'。デ モー 'イマ'デ 'オッ'キー
ト ロ'ク'ジョー'ウエ'。'ノッ'テ ウ'エ'ハリマス。最初はね、二条植えがね。で、もう(田植え機)が
大きいと六条植え、乗って植えます。

46 お茶炒り ヒ下イリ、フタイリ、ミイリ、(下イリ)

○アオ'チャカラ イ'レ'テ シマスヤ'ロ。デ 'モ-'ンデ ズ'ー'ット 'モ'ン
 デ ヒ'ロゲテオキマスネ'ヤ。ホシテ 'ニバ-'ン サンバ'ン 'ヨンバ'ンテ
 カケマスネ'ヤ。ヨンバン'グ'ライ 'タイ'ガイ カケマ。ホイ'テ アト シ'
 アケ'。ホレオ 'ホイロ'テ イ-マスネ'ヤ。'ホイロチュ'テ 'ネ。イチバン
 ア'トノ シ'アゲ'ワ。コレデ カ'ラカラ'ニ ナリマスネ'ヤ。

青茶から入れますでしよ。で、揉んでずっと揉んで広げておくんです。そして、二番、三番、四番とかけるんです。四番ぐらい大抵かけます。そしてあと仕
 上げ、それをほいろと言います。ほいろといってね、一番あとの仕上げは、これだからからになるんです。

E 衣服

- 1 和服 4 シャツ 5 エプロン 6 おむつ 7 手拭い・タオル 15 布団 17 敷布
- 19 座布団 20 カーテン イチマイ、ニマイ、サンマイ、ジュ-マイ
- 2 背広 イッチャク、ニチャク、サンチャク、ジュッチャク
- 3 スポン 11 手袋 (一組) 12 靴下 (一組) 13 はきもの (一組)
 イッソク、ニソク、サンソク、ジュッソク
- 8 帯 ヒ下スジ、フタスジ、ミスジ、下スジ
- 9 紐 イッボン、ニホン、サンボン、ジュッボン
- 10 ボタン イッコ、ニコ
- 14 麦わら帽子 18 枕 ヒ下ツ、フタツ、ミツツ、下-
- 16 掛け布団と敷き布団の一揃い (1) ヒ下チガレ、フタチガレ、ミチガレ、
 下-チガレ (2) ヒ下クミ、フタクミとも。

F 食

- 1 食事の回数 (1) イッカイ、ニカイ、サンカイ、ジュッカイ (2) イッショク、
 ニショク、サンショク、ジュッショク
- 2 料理の品数 イッピン、ニピン、サンピン、ジュッピン
- 3 飯 (1) イチゼン、ニゼン、サンゼン、ジュ-ゼン (2) イッバイ、ニハイ
- 4 汁 イッバイ、ニハイ
- 5 おにぎり ヒ下ツ、フタツ、ミツツ、下-
- 6 うどん (乾麺) イ-チワ、ニワ、サンバ、ジュッバ
- 7 うどん (ゆで麺) ヒ下タマ、フタタマ、ミタマ
- 8 食パン (切っている物) イチマイ、ニマイ、サンマイ、ジュ-マイ
- 9 食パン (切っていない物) 10 菓子パン イッコ、ニコ
- 11 餅 (白に入っているつきたての餅) 12 餅 (平たくのしたもの) (ノジモチ)
 ヒトウス、フタウス、ミウス、下ウス
 ○アレ'モ ヒ'トウスナ'ラ ヒ'トウス ノ'シテマイマスサカイ'ニ。ヒ'トウス
 プン フ'タウス'ブンテ コ'ー アノ シマス' ワ'ナ。餅も(ノモチ)一ぱら一ぱら、の
 てしまから、一ぱら二ぱらと、こう、あの、はまよ。
- 13 餅 (四角く切ったもの) 14 餅 (丸めたもの) (マルモチ) 16 鏡餅 (個々)
 ヒト-ツ、フタ-ツ、ミツツ、下- 正月用の丸餅をハマグリと呼ぶ。
 ○イ'クツ タベタ イ'クツ タベタ'ッテ ユート 'ネ。'ミツ'ツ タベタト'

カ 'イツ'ツ タベタトカ'ヨー'ナ イーマスサカ'イ。いく食べいくたべたと読む。三
 食べたとか五つ食べたというように言いますから。

- 15 鏡餅 (重なったもの) (オ方方'ミサン) ヒ下方サネ、フタ方サネ、(ミ方サネ、
 ジュッ方サネ) ○ウ'チラノ ホーデワ 'コー フ'タカサネド'ス。フタツ
 'ノセテ ヒ'トカサネ。うちの方では、こう、かきねです。二つでてーかきね。
- 17 菓子箱 ヒ下ハコ、フタハコ、ミハコ、ジュッハコ
 ○タイ'ガイ オツカイモンヤト 'ネ。'ハ'コイリ 'シマ'スサカ'イ 'ネ。
 大概おつかいものだとね。箱入りになりますからね。
- 18 饅頭 イッコ、ニコ、サンコ、ジュッコ
 19 羊羹 (1) イッコ、ニコ、サンコ、ジュッコ (2) イッポン、三ホン
 20 煎餅 イチマイ、三マイ、サンマイ、ジューマイ
 21 飴玉 (1) イッコ、ニコ、サンコ、ジュッコ (2) ヒ下-ツ、フタ-ツ、ミツツ、下-
 22 卵 ヒ下ツ、フタツ、ミツツ、下-
 23 豆腐 24 こんにゃく イッコ、ニコ、サンコ、ジュッコ (2) ヒ下-ツ、フタ-ツ、ミツツ、下-
 25 油揚げ 26 海苔 29 するめ イチマイ、三マイ、サンマイ、ジューマイ
 27 魚の切り身 ヒ下キレ、フタキレ、ミキレ、下キレ
 28 にぼし イッピキ、三ヒキ、サンピキ、ジュッピキ
 30 キャベツ 31 白菜 32 玉葱 33 茄子 34 西瓜 36 かぼちゃ 38 さつまいも
 40 栗 41 苺 (1) ヒ下-ツ、フタ-ツ、ミツツ、下- (2) イッコ、ニコ、サンコ、
 ジュッコ
 35 きゅうり 37 大根 イッポン、三ホン、サンボン、ジュッポン
 39 大豆 (個々) (1) ヒ下-ツ、フタ-ツ、ミツツ、下- (2) イッコ、ニコ、サンコ、
 ジュッコ 外で数える時には、ヒ下マス、フタマス。またはイッショー、三ショー、
 サンジョ (-)
 42 餃子 イッポン、三ホン、サンボン、ジュッポン
 43 猪口 ヒ下ツ、フタツ、ミツツ、下-
 44 葉 (錠剤) ヒ下ツポ、フタツポ、ミツポ、下ツポ ツポはツブとも。
 45 葉 (粉) ヒ下フクロ、フタフクロ、ミフクロ、下フクロ
 46 葉 (注射) イッポン、三ホン、サンボン、ジュッポン

G 住居・建造物

- 1 住宅 イッケン、ニケン、サンゲン、ジュッケン
 2 部屋 ヒ下マ、フタマ、ミマ、下マ
 3 窓 ヒ下マド、フタマド、ミマド、ヨマド、下マド
 4 雨戸 5 扉 6 ふすま 7 畳 8 簾 9 瓦
 イチマイ、三マイ、サンマイ、ジューマイ

H 家具類

- 1 たんす 2 机 3 椅子 ヒ下ツ、フタツ、ミツツ、下-
 4 本棚 ヒ下タチ、フタタチ、ミタチ、ジュッタチ

- 5 鏡 (カワ^ミ) イチマイ、ニマイ、サンマイ、ジューマイ
 6 浴槽 数えない。○ヒ^{トツシカ} 'オエ^{ンサカ}イ。マー 'アン^{ナモン}。つかありま
 ンから。まあ、あんなものは
 7 蚊帳 ヒトハリ、ヲタハリ、ミハリ、下ハリ

I 炊事・掃除・洗濯関係

- 1 ご飯茶碗 2 お碗 3 どんぶり 4 湯呑み茶碗 5 急須 6 湯呑みと急須の一揃い
 9 灰皿 12 弁当箱 ヒト^ツ、ヲタ^ツ、ミ^ツ、下^ツ
 7 皿 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ジューマイ
 8 つば ヒト^{ツボ}、ヲタ^{ツボ}、ミ^{ツボ}、下^{ツボ}
 10 重箱 (一式) (1) ヒト^{クミ}、ヲタ^{クミ} (2) ヒト^ツ、ヲタ^ツ
 11 重箱 (一段一段) イチダン、ニダン、サンダン ○ジュ^{ーモ} 'オヘン^{サカ}イ。
 'タイ^{ガイ}。'タイ^{ガイ} アッテモ^ー 'ヤッ^{ツカ} 'イ^{ツツ}グライデス^ヤ
 ロ 'ネ。でもないから、大風 大風あっても、八つが五つぐらいでしょうね。
 13 箸 イチゼン、ニゼン、サンゼン、ジューゼン 一本一本は、イッ^{ボン}、ニ^{ホン}。
 14 水桶 イッ^コ、ニ^コ
 15 ざる 18 くず籠 ヒト^ツ、ヲタ^ツ
 16 ほうき 19 物干し竿 イッ^{ボン}、ニ^{ホン}
 17 雑巾 イチマイ、ニマイ
 20 漬物桶 ヒト^{オケ}、ヲタ^{オケ}

J 日用品

- 1 櫛 2 扇子 3 傘 8 火箸 (一揃い) 10 金槌 11 釘 イッ^{ボン}、ニ^{ホン}
 ○ホレモ ツ^イドスサカ^イ。ホレデナイ^トー 'ツ^{マメ}ヘンサカ^イ。それも(火箸)が
 すから、それでないと、つまみませんから。
 4 提灯 イッ^{チョー}、ニ^{チョー}
 5 電球 6 靴 7 小包 ヒト^ツ、ヲタ^ツ、ミ^ツ、下^ツ
 9 はさみ イッ^{チョー}、ニ^{チョー}
 12 縄 ヒト^{スジ}、ヲタ^{スジ}、ミ^{スジ}、下^{スジ}

K 燃料

- 1 薪 (束) 3 柴 (束) イッ^{ソク}、ニ^{ソク}、サン^{ソク}、ジュッ^{ソク}
 ○イ^マワ シ^バチュ^ノワ アノ 'シマセ^{ンハ}カイ 'ネ。'マ^キワ マダ
 'ネ。'オ^フロニ 'タイ^タリ シテハ^ルト^ー。'マ^キオ シハ^リマス^ケ
 'ネ。ムカシワ 'ホ^レ イロ^リデ 'タイ^テ 'ネ。ホン^{デー} 'アノ^ー ナニ
 ワ シ^バワ 'ネ。ヨー^ケ 'シマシ^テ。アノ ツ^ボネニ 'ツ^ンデ 'ネ。
 今は柴というのは、あの、しませんからね。薪はまだね、お風呂に炊いたりしていますと、薪をしますからね。昔は、ほれ、囲炉裏で焚いてね。それで、あの、
 なには、柴はね、たくさんして、あの、つばねに積んでね。
 2 薪 (一本一本) 4 柴 (一本一本) イッ^{ボン}、ニ^{ホン}、サン^{ボン}、ジュッ^{ボン}
 ○エ^ダオ 'ネ。'カ^サネタノ 'ヨ^セテ。'ホ^シテ ツ^クツ^タモン^デス^サカ

「イ。'ホ'イテ 'イッ'ソク 'ナリマ'スサ'カ'イ。(柴は) 枝をね、重たのを集めて、そして作ったもの
ですから、そしてそくになりますから、

L 乗り物・交通

1 船 イッソー、三ソー、サンソー、ジュッソー 大小によって区別しない。

M 文房具

1 ものさし イッボン、三ホン、サンボン、ジュッボン

2 算盤 七下ツ、フタツ、(ミツツ、下)

N 娯楽

1 めんこ 2 ビー玉 3 お手玉 4 おはじき 5 風船 6 ゴムまり 8 凧 9 独楽

23 ハーモニカ 24 ラッパ 26 ギター 七下ツ、フタツ、ミツツ、下

○'コ'ンド イクツ アガッター。「ト」アガッタ'ト'カ 'ミツ'ツ アガッタト
'カ' 'ネ。(黒は) 今度いくつあがった? 十あがったとか三つあがったとかね。

7 竹馬 七下クミ、フタクミ 一本一本はイッボン、三ホン

10 羽子板(個々) イチマイ、三マイ、(サンマイ、ジューマイ)

11 カルタ イチマイ、三マイ、サンマイ、ジューマイ

12 じゃんけんすることの回数 イッカイ、三カイ、サンカイ、ジュッカイ

13 ひな人形(一式) 七下ツ、(フタツ、ミツツ、下)

14 ひな人形(個々) 七下リ、フタリ

○'ヒナメコ'ツ'コチュテ 'ネ。「ヒナメア'ソビ シマシテン 'ヤ-。ホ'ナ
ジブンデ 'コシ'ラエ'テ'ワ コー キ'セ'カエ 'キ'レオ 'ネ。キセカ'エ
'シ'タリシ'テ-。「ホイ'テ ア'ソビマシテ-。ひなめごとこといってね、ひなめ遊びをしました、それで自分
で(人形を)つくっては、こう着せ替え、布をね、着せ替えしたりして、そして遊びました。

15 碁・将棋の勝負 イッカイ、三カイ

16 相撲の勝負 イッカイ、三カイ ○オナゴ ア'ソブン アノ コドモノ'ジ'ブ
ンワ 'ネ'-。オトコノ'コ'ト- 'チ'ガイマスサカイ 'ネ'-。スモーノ 'ア
ソビッテ シ'ハッタコ'ト 'オボエマセ'ン 'ワー。女の子が遊ぶのは、あの、子どもの時分はね、
男の子と違いますからね、相撲の遊びをしましたこと記憶にありませんよ。

17 掛軸 19 写真 イチマイ、三マイ

18 絵画 (1) 七下ツ、フタツ (2) イチマイ、三マイ

20 歌 イッキョク、三キョク、サンキョク、ジュッキョク

21 太鼓 七下ツ、(フタツ、ミツツ、下) ○ミ'コ'シサン デ'ハリ'マ'ス'シ'
-。コ'コ'ノ オ'ミヤサン'ノ ザイショ'ノ オマツリデスサ'カ'イ。ソレワ
モー 'ニ'キ'ヤカデス。「タイ'コガ デ'テ 'ネ。「オー'キナ 'タイ'コオ
ヒツ'パツ'テ コドモガ 'ザイ'ショオ ヒツ'パツ'テ アルクンデス。

(この祭りは) お神輿さんが出ますよ、ここのお宮さんのお祭りですから、それはもう賑やかです、太鼓が出てね、大きな太鼓をひびいて子どもが在所を
ひびいて歩くのです。

22 横笛 イッボン、三ホン、サンボン、ジュッボン

- 25 ピアノ イチダイ、ニダイ、サンダイ、ジューダイ
 27 宿泊の回数 イッパク、ニハク、サンバク、ジュッバク

○ 経済

- 1 財布 エトツ、ラダツ
 2 硬貨 イッコ、ニコ
 3 紙幣 イチマイ、ニマイ、サンマイ、ジューマイ
 4 札束 (エ下タバ、フタタバ)
 5 はんこ イッポン、ニホン、サンボン、ジュッポン

P 年中行事

- 1 門松 習慣がない。
 2 しめなわ 習慣がない。○ココラワ アンマリ シ'ハリマセ'ーン。こころあまりせん。

Ⅲ. まとめ

(1) 今回の調査では、「D-24 稲むら」に「ツボネ」を用いるほか、取り立てて特徴的な助数詞を見出だせなかった。それでも、なんでも「コ(個)」で済ますほどにのっぺりとはしていない。

(2) 次の文例は神輿の数え方を問うたときの話者の教示である。この話者にとって切実に経験する神輿は、在所の祭りの、その神輿である。

○ヒト'ツシカ 'オヘ-'ンサカイ'ニ。'カゾ'エタ コトモ 'オヘ-'ンゲ'ドー。

オ'ミコッサンチュ'テ 'ネ。(神輿)一つしかないから、数えたことはないけど、おみこさんといってね。

或るものを数えたり量ったりする行為は、対象の個々が均一なものの集まりであると見做すことを前提にしている。対象が異質なものの集合であれば、一緒に計量することにさほどの意味を持たない。特定の環境にいる者にとって、それぞれに、数える必要のあるものと必要のないものとが存在するのである。

(いのうえひろふみ 大阪教育大学)